

水質事故等の発生状況

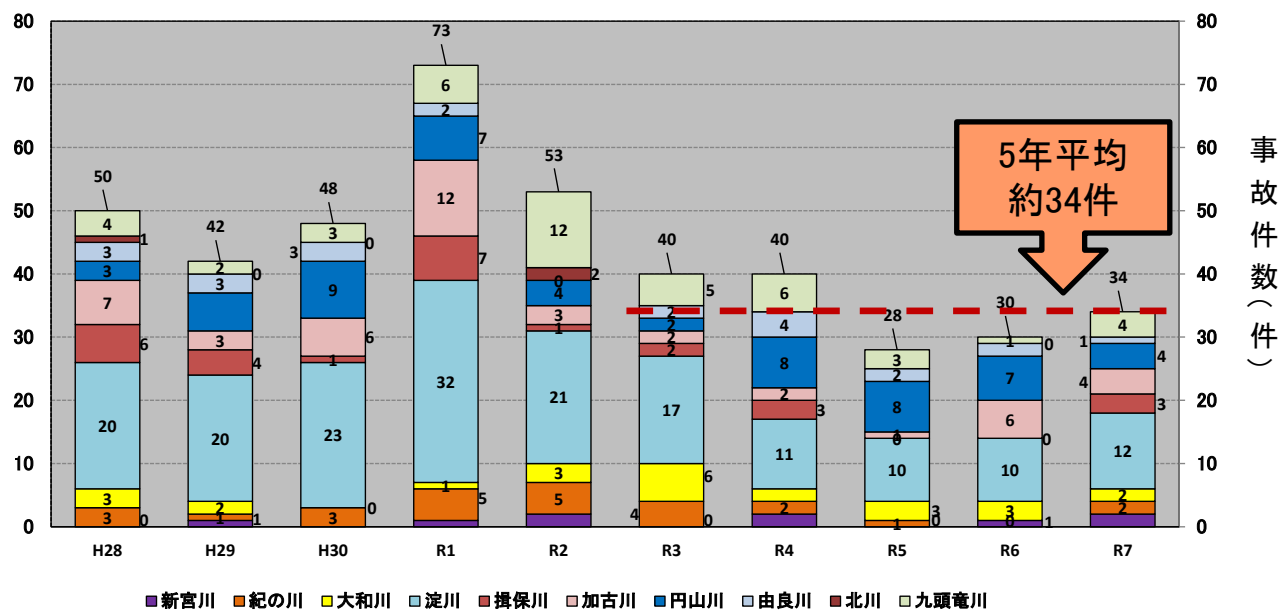
令和7年に近畿地方整備局管内で34件の水質事故が発生しました。

令和7年は34件の水質事故が発生しており、これは近畿地方整備局管内（※）の直近5年（R3～R7年）における平均の水質事故件数（約34件）と同程度です。

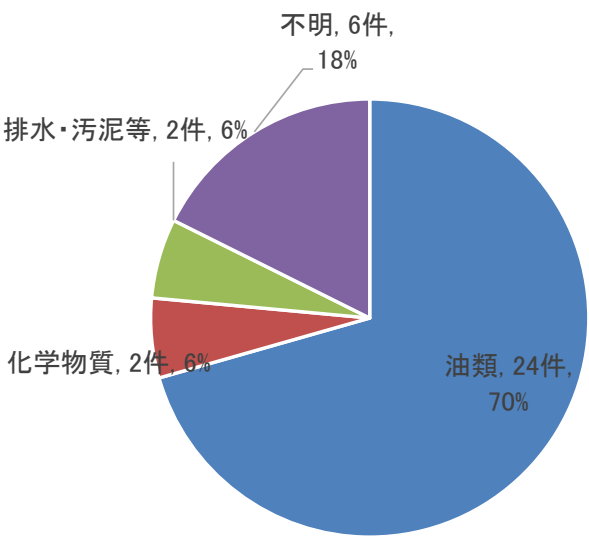
水質事故の種類別では油類によるものが最も多く、全体の70%を占めています。事故原因が判明した水質事故をみると、その原因は交通事故が7件（20%）と最も多く、次いで工場等での操作ミスが3件（9%）、機械の故障、不法投棄がそれぞれ2件（6%）となっています。

※直轄河川とその流域

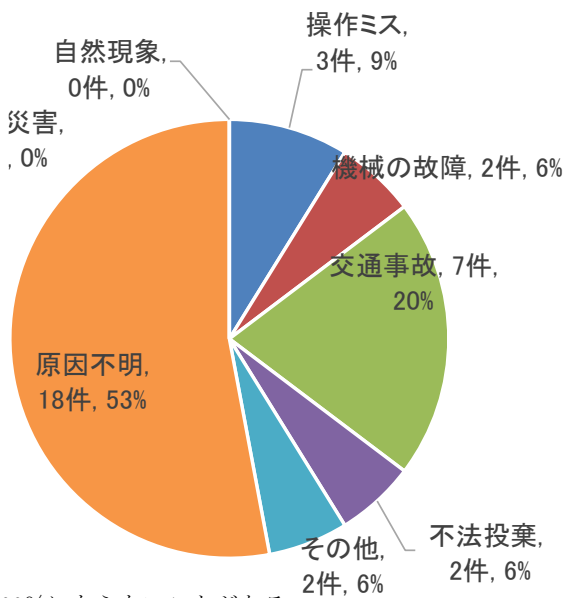
水系別経年変化



令和7年『種類』別の水質事故発生割合



令和7年『原因』別の水質事故発生割合



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

令和7年事故「種類」「原因」別割合